

社会保障と教育予算の拡充を求めることについて

要 旨

「貧困と格差」を解消し、国民の生存権をまもるため、社会保障費の抑制策をあらため施策を充実させること、生活保護制度の拡充などセーフティネットの確立、教育費負担の軽減等を求める。

理 由

「貧困と格差」を解消し、国民の生存権をまもるために、社会保障費の抑制策をあらため、施策を充実させることや生活保護制度の拡充などセーフティネットの確立が緊急課題となっています。経済的理由からの未来ある子どもたちの進学断念や退学が後をたたないもとの、教育費負担の軽減が必要です。また、社会保障予算の拡充を口実に、低所得者ほど負担の重い消費税率のアップをおこなうことは許されません。不要不急の大型開発の中止や軍事費の削減、大企業・大金持ちへの適正な課税などによって、予算を国民本位に組み替えることこそ求められています。

以上の趣旨から、下記事項の実現を求める国に対する意見書を採択して下さるようお願い申し上げます。

陳情項目

- 1 . 社会保障予算を大幅に増やし、施策を充実させること。
- 2 . 医療・介護保険などへの国庫負担を大幅に引き上げること。  
後期高齢者医療制度や障害者の応益負担を即時撤回すること。無保険者をなくすとともに、低所得者などへの減免制度を抜本的に拡充すること。
- 3 . 生活保護制度の拡充や最低保障年金制度の創設、失業等給付の再整備など、セーフティネットを確立し、人間らしい生活を保障する給付を実現すること。
- 4 . 教育予算を大幅に増やすとともに、教育費の無償化をすすめること。  
学費減免制度を拡充するとともに、給付制を基本として奨学金制度を充実させること。

平成 2 1 年 1 1 月 6 日

陳 情 者 秋田市中通 7 丁目 2 - 2 1  
秋田県労働組合総連合  
議長 佐々木 章  
他 1 名

大仙市議会議長 児 玉 裕 一 様